

校長雑感

Soundscape

松本蟻ヶ崎高校
第102号
令和7年11月26日

初冬 黄金色に輝く風景



ダンス部 演技では「自分さがし→自分らしさ」を表現



11月下旬、澄んだ空気をまとい通勤途中の山々は木々を黄金色へと変化を見せ、いよいよ冬を迎える頃となりました。昨日より定期考査が始まっています。●11月22日(土)に行われた「令和7年度ダンスドリル秋季競技大会甲信越大会」においてダンス部は HIPHOP 女子ラージ部門に出場し、見事全国大会への出場を決めました！㊗ おめでとうございます！3年生が抜けたあとの大舞台で40人が一糸乱れぬ感動の演技を披露。素敵なパフォーマンスに感動しました。ぜひ全国大会でも蟻高の団結力で悔いなく演舞してほしいと願います。校内の全国大会出場看板も賑わい嬉しい限りです♥

映画「国宝」が実写で興行収入歴代1位に！

今年の私の「美しいもの」と出会えた瞬間ランキングで間違いなく1位は映画「国宝」です。今日発表されたこのニュースに納得！音楽との融合も素晴らしい歌舞伎の世界が今の時代に発信力を持って人々に問いかける作品でした。あらためて題材にもなった「曾根崎心中」について考えます(俳優吉沢亮さん、横浜流星さんの演技は圧巻！)これは近松門左衛門作の「世話物(せわもの)淨瑠璃」で1703年竹本座初演の人形淨瑠璃に始まり後に歌舞伎の演目になりました。門左衛門はそれまでの形淨瑠璃では伝説や伝承を描くもののみであった中、心中事件という俗世の物語を持ち込み「世話物」と呼ばれる新しいジャンルを創り上げたと言われています。こうした心中ものの流行の結果、来世で二人の愛が結ばれることを誓った事件が多発したため江戸幕府は1723年より上演や脚本の執筆を禁止にし、心中者的一方が生き残った場合は極刑を申し渡し双方生存の場合は晒しものにし市民権を奪ったそうです。歴史を育んだ芸の世界を追求する歌舞伎の世界を垣間見、もっと深く知りたい欲求が生まれ、文化芸術にはそんな力があることをこの映画で感じたところです。